

第 36 回定期演奏会反省会議事録

日 時: 2018 年 3 月 17 日(土) 18:30～19:40

場 所: 愛知県医師会館 6 階研修室

出席者: 34 名

司 会: 佐藤、森、安藤 (書記: 白石)

議 事

- ① 反省会の趣旨説明
- ② 来場者アンケート結果紹介
- ③ 技術面に関する団員アンケート内容の紹介および説明(技術委員長)
- ④ 企画面に関する説明(企画委員長)
- ⑤ 質疑応答

① 反省会の趣旨説明(佐藤)

- ・この会は反省する会ではなく、より良いオケ・より良い音楽をめざすための会にしたい。
- ・定演の御礼と報告。入場者は 1,105 名でした。
- ・団員アンケートは 75 名配布に対し 55 名返信と多くの団員の皆様から率直なご意見を頂戴しました。

② 来場者アンケート結果紹介(安藤)

- ・来場者アンケートは 179 名の方々のご協力があった(回答率: 昨年 12～13%→今年 16%)。
- ・来場回数: 初めて(63 名)、2～5 回(81 名)、6 回以上(35 名)
- ・評価: 良かった(まあまあ良かった) 序曲 128(46)、協奏曲 153(21)、交響曲 147(13)
- ・今後の要望: 「惑星」、「田園」、「新世界」が多かった。
- ・アンケート内容変更: 曲目ごとに評価して頂くようにした。「ふつう」という選択肢を無くした。

③ 技術委員長から技術面に関する団員アンケート内容の紹介および説明(森)

- ・今回の技術委員会の目標＝アンサンブルの意識と注意事項の周知徹底。
- ・全体的な感想: 本番はおおむね良かった。音楽が楽しめるようになってきた。技術的・音楽的に向上した。
- ・練習: 練習メモ・録音は役に立った。練習回数は適切、練習場は県医師会館を希望する声が多かった。→場所や時間などいろいろな条件を組み合わせで練習スケジュールを組んでいるのでご理解いただきたい。練習に関する情報の伝達は? →各自がホームページを確認して「自分から情報を取りに行く」という姿勢を。直前の連絡はメールも併用して知らせる。
- ・選曲: 前プロの負担が増えた。→近年オケのレベルが上がり、難しい曲にチャレンジするようになったと考えられる。個人の練習<分奏<tutti という自覚を。
- ・指揮者・ソリスト: 良かったというコメントが多かった。
- ・今後の曲目等: 個人的にはマーラーをやりたいという希望が複数あった。アンコールは何曲

か手持ちの曲を確保しておいてローテーションをするという案もあった。 医師会オケという立場上、「やりたい曲をやる」はできない。オケのあり方を長期的視野に立って考える必要あり。

- ・定演の時期:定演の時期については年度末、台風シーズン、春秋の学会シーズンを避けて欲しい等の意見が多かった。
- ・第 37 回定演は平成 31 年 3 月 3 日(日)の予定。
- ・より良い音楽作りのために:互いに聴き合いアンサンブルをもっと意識する。室内楽演奏の活用。各パート間のコミュニケーション。オケ全体のレベルアップには団員個人のレベルアップが必要。新団員を増やす(特に Vn パート)。団員募集をプログラムに載せる。
- ・技術委員の選出について→運営委員会が委員長を任命、技術委員会で各委員を決定。

④ 企画委員長から企画面に関する説明(佐藤)

- ・プログラムの誤植のお詫び。→今後原稿依頼を早めて余裕を持って校正し、間違いのないようにする。プログラムの広告が多い。→プログラム代の補助として必要。

プログラムの内容についても再検討する。

- ・企画委員会の組織・人員について→欠員も出てきたので検討のうえ再編成を行う。
- ・定演スタッフ人件費について→市民会館で多くのスタッフを必要としたが、皆さん積極的にお手伝い頂き感謝しています。今後人件費削減のため団員のご家族を含めてボランティアの方を早目に広く募集するのでご協力をお願いしたい。

預かりチケットに不備が多くそのための人員を要している。→今後預かりチケットはできる限り減らしていただき、必要な場合は決められたルールを守って欲しい。(定型の封筒を検討)

また同様に差し入れもなるべく減らしていただきたい。(できればかさばらないものを)

- ・団費は開業医と学生とが同じ金額なのは如何なものか?→区別しないという立場で同一の金額にしている。(宇野先生)
- ・企画委員の選出について→企画委員長は運営委員会が任命し、企画委員長と副委員長で委員を決める。任期は特になし。(今後の課題)

⑤ 質疑応答

Q:定演の時期は必ずしも年度内ではなく4月以降でも良いのでは?

A:医師会の予算の関係で次回は年度内に開催しなければならない。会場の確保が難しくなってきたので来年以降は検討の余地あり。(佐藤)

Q:技術委員と運営委員を兼務されている方がおられますが、技術委員会は運営委員会の下部組織なので兼務は如何なものか?

A:兼務しても構わないと思う。(宇野先生)

皆様からいただいた貴重なご意見については、技術委員会・企画委員会共に内容を十分検討の上、より良いオケ・より良い音楽の実現に役立てて行きたいと考えています。

技術委員長:森 恵子 企画委員長:佐藤嘉純